

テーマ：『AMED研究費提案における基本原則』
～マグリットの「透視」に学ぶ、提案書作成の核心～

2026年9月7日（月） 18:00-19:00

要登録・オンライン・参加無料 [登録サイトはこちら](#)



ご講演内容

医療分野の研究開発において、研究費の確保は極めて重要な課題です。競争的資金を獲得するためには、優れた研究計画であるだけでなく、「評価する側の視点」を深く理解し、社会実装というゴールから逆算した提案書の設計が求められます。

本セミナーでは、日本医療研究開発機構（AMED）の塩塚政孝先生をお招きし、提案書作成の核心についてご解説いただきます。

<主なトピック>

- ✓ 完成図から逆算する設計思想
- ✓ AMEDという存在の再定義
- ✓ 評価する側の論理構造

研究開発を進めておられる先生方、またその支援に携わる皆様の今後の戦略構築に役立つ実践的な内容となっております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

講師紹介

塩塚 政孝 先生

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）
橋渡し・臨床加速事業部 拠点事業課 主幹



2000年 博士（人間科学）取得後、早稲田大学 人間科学部 人間基礎科学科にて骨格筋発生に関する基礎研究に従事。2002年より東京大学大学院 総合文化研究科にて、筋ジストロフィーの治療に関する応用研究に従事し、「ナンセンス変異型遺伝性筋疾患に対する薬物治療～リードスルー作用に基づく有用性の検討を目的としたプラセボ対照無作為化試験」を実施。2015年より九州大学病院 ARO次世代医療センターにて、西日本を中心に橋渡し研究、早期シーズの発掘・育成、産学連携に従事。2018年よりAMEDにて橋渡し研究プログラムにおけるアカデミア発の革新的医療技術の実用化推進に尽力。

慶應義塾大学病院臨床研究推進センターでは、臨床研究・治験に関わる研究者および研究支援者の育成を目的に、各種の教育研修プログラムを開講しております。この『橋渡し研究プログラム 教育セミナー』は、研究シーズ実用化に向けた開発イメージ構築のお手伝いを主眼とし、実践的側面と土台となる理論的側面をバランス良く配して経験豊富な講師陣によりわかりやすい講義を提供していきます。

お問合せ先： 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター TR部門

TEL 03-5363-3474（内線 63744） mail: apply-tr@ctr.hosp.keio.ac.jp